

様式B

平成30年度 幼稚園 ゆめプラン評価公表シート

和歌山市立西和佐幼稚園

教育目標

ゆめ	重点目標	具体的取組	取組の状況	
「見て・ふれて・感じて・響き合う子供を育てる	心と体で自然を感じ、心身ともにたくましい西和佐っ子を育てます	遊びを通じた学びを大切に 遊	意欲的な行動	意欲的な行動については、保護者から93%と高い評価を得た。教員は、園内で話し合いながら、子供たちが意欲的な行動をする為の環境の工夫を意識し取り組んだ結果だと考える。
		友	友達とかかわる楽しさを味わう	保護者の評価は、好意的な意見が91%を示し高い評価を得た。友達と遊びたい気持ちを高めたり、友達への思いやりを深めたりできるよう援助していった結果だと考える。
		個	個々の見取りと生活習慣の確立	子供の思いや願いを大切に、日々の保育指導については、88%の評価であった。今後も子供一人一人にあった援助を行い、保護者には、日々の幼稚園での子供の様子をしっかりと伝え信頼関係を気付いていくことが大切であると考えている。
		保	保護者と子供の成長を共有する	保護者と子供の成長を共有するということは、保護者に出る事だけを伝えるのではなく、遊びの中での子供の育ちや学びを伝えることだと考える。保護者の思いもしっかりと受け止め、子供の成長を共有できるよう、引き続き進めていきたい。
		地	地域の人々と交流する	地域の人々との交流は98%と今年度も高い評価を得た。家族だけでなく、地域の方々にも見守られているということを知り、感謝の気持ちをもてるよう今後も取り組んでいきたい。
		小	小学校との交流を図る	小学校との交流は毎年全学年と行い保護者から高い評価を得ている。お兄さんお姉さんと一緒に遊んだり、取り組んできた発表を見せてもらったりすることは、小学校への憧れや、やってみたいという気持ちにつながっていくと考えている。
		の	体を動かして遊ぶ楽しさを味わう	子供達が自然と体を動かしたくなる活動や挑戦したいやってみたいと感じるような内外の活動について職員間で話し合い環境の見直しや工夫を行っている。保護者からの評価は89%あるが、今後も園全体で取り組んでいきたい。
		育	育てて食べる楽しさを味わう	食育については100%の高評価であった。園で栽培し収穫・調理をすることで、食の楽しさを感じ、食することの感謝の気持ちをもてるよう取り組んでいる。次年度も引き続き食育推進に取り組んでいきたい。
		季	季節ごとによる自然の変化に関心をもち	四季を感じ、自然と十分にかかわれるよう園庭にクローバーレンゲ、萩・ススキなどを育てている。園庭だけでなく、地域の自然に興味をもち地域の良さを感じられるようにもしていきたい。

保護者アンケート集計結果の比較から見えてきた成果や課題

どの項目も、保護者からのアンケートは高評価を示していたことから、本園教育の取り組み状況は良好と考えられる。課題としては、園での取り組みや、子供たちの育ち・遊びでの様子等を、保護者に知らせるときの伝え方の工夫をしなければならないと考えている。一人一人の育ちをしっかりと伝え、保護者と成長を共有し、喜び合える関係を築いていきたい。また来年度も意欲的に遊びを楽しめる環境の工夫をしていきたいと考えている。

今年度の取組の成果と課題・今後の改善方策

今年度は、園庭の環境の見直しを全職員が意識していった。園庭の鉄棒近くにあった花壇を取り去ってみたところ、築山からフラフープを転がしたり、スクーターで走り下りたりと、今までと違う遊び方がみられた。また、園庭に置いているテーブルの位置を変えたことで遊びが発展している姿がみられた。全園児で遊ぶ時間を増やしたことで異年齢児のかかわりも自然と増えた。しかし、園での取り組みや子供達の遊びの中での学びについて保護者に知らせる方法が少なかったことを反省している。保護者への理解を得るためにも、一人一人の育ちをしっかりと伝えたり、写真で知らせたりしていきたい。これからも全職員で環境の工夫をし、個々の見取りを怠らないよう個人記録をとり、園全体で取り組んでいきたい。

学校関係者評価委員による自己評価の検証

学校関係者評価委員から、
教育目標にそってしっかり実践している。
環境の見直しを行い、子供が自主的に遊びを工夫できるような環境作りをしている。
食育の推進や幼小交流は素晴らしいので、引き続き続けていってほしい 等の評価をいただいた。